

ひしもいた 議会だより



下仁田町議会
ホームページ
QRコード

発行：群馬県下仁田町議会

私たち福祉作業所では週2回、マルシェトイレをピカピカにお掃除しています。使う人みんなに喜んでもらえるよう頑張っています。

夏に向けて裏の花壇に花を植える予定です。トイレ裏の道を通る人が見て楽しんでもらえたら嬉しいです。

令和4年度 一般会計予算

歳入歳出 48億1,600万円

前年度比 1億2,500万円の増額 (2.66%増)

主に国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業」による増額

■主要事業

() 内は町一般財源以外の財源

(単位:万円) ※千円未満切り捨て

事業名等	予算額	新規
ふるさと納税促進事業 ※返礼品等	3,483	
街なか賑わい整備計画策定業務委託 (土地開発基金 250 万円)	250	●
旧西牧西小学校グラウンド擁壁修繕 (公共施設等整備基金 300 万円)	330	●
旧北小学校グラウンド遊具撤去 (公共施設等整備基金 100 万円)	110	●
成人男性に対する風しん追加対策 (国 35 万円)	100	
新型コロナウイルスワクチン接種事業 (国 1,257 万円)	1,257	
下仁田南牧医療事務組合負担金 (交付税 2 億 2,105 万円・過疎債 4,910 万円・ふるさと下仁田応援基金 1,750 万円)	3 億 4,713	
甘楽西部環境衛生施設組合負担金 (ゴミ袋販売差金 235 万円)	1 億 6,237	
広域市町村圏振興整備組合消防・医療対策・事務費負担金	2 億 2,899	
農業次世代人材投資資金 (県 150 万円)	150	
有害鳥獣駆除対策 (県 1,084 万円)	1,821	
地域おこし協力隊事業 ※農林部門2名	777	
特用林産物生産活力アップ事業補助金 (県 473 万円)	568	
下仁田町ぐんまの木で家づくり支援事業	120	
ぐんま緑の県民基金事業 (県 1,097 万円・ふるさと下仁田応援基金 220 万円)	2,150	
森林経営管理事業 (森林環境譲与税 3,901 万円・森林環境譲与税基金 2,340 万円)	6,241	
県単林道改良事業 (県 1,500 万円・過疎債 1,500 万円)	3,000	
急傾斜地崩壊対策事業受益者負担金 (防災対策事業債 380 万円)	380	
創業支援事業補助金	313	
公共土木施設維持補修 (道路使用料 75 万円・ふるさと下仁田応援基金 220 万円)	3,151	
過疎道路 (基幹) 整備 (過疎債 7,690 万円)	8,240	
橋梁維持管理 (国 2,956 万円・過疎債 2,400 万円)	5,713	
交通安全施設整備	257	
河川改良費 (緊急自然災害防止対策事業債 4,070 万円)	4,070	
吉崎団地改修工事 (国 250 万円・使用料 8 万円・公営住宅債 370 万円)	628	

() 内は町一般財源以外の財源

(単位：万円) ※千円未満切り捨て

事業名等	予算額	新規
消防自動車購入 ※第3分団第3部 (過疎債 2,140 万円)	2,143	●
旧消防詰所解体工事 ※土谷沢・安楽地	320	●
中学校海外派遣代替事業 (ふるさと下仁田応援基金 300 万円)	361	●
風穴バス運転委託 (寄附金 18 万円・ふるさと下仁田応援基金 170 万円)	189	
ジオパーク運営 (諸収入 1 万円)	519	
給食配送車購入 (過疎債 510 万円)	510	●
学校給食センター調理等業務委託	2,940	
給食物資購入事業 (南牧村負担金 301 万円・給食費納入金 363 万円・ふるさと下仁田応援基金 1,330 万円)	2,005	
荒船風穴保存活用計画(改訂版)策定業務 (国 120 万円・県 60 万円)	243	
荒船風穴サイン(総合案内標識)整備工事 (国 1,307 万円・県 653 万円・過疎債 990 万円)	2,960	●
荒船風穴史跡追加用地購入 (荒船風穴基金 600 千円)	678	
ALT 招致 外国語指導助手2名分	923	
中学校校舎屋上防水改修工事 (過疎債 460 万円)	462	●
馬山多目的集会施設設計委託料 (過疎債 220 万円)	224	●
中学校屋外運動場照明施設撤去工事	350	●
文化ホール外壁改修工事 (過疎債 1,170 万円)	1,177	●

●定住促進事業

(単位：万円) ※千円未満切り捨て

ねごとこんにやく下仁田奨学金事業 (奨学金基金 763 万円・ふるさと下仁田応援基金 1,200 万円・地方創生応援税制 500 万円「企業版ふるさと納税」)	2,764	
定住促進奨励金 ※1戸 25 万円 (ふるさと下仁田応援基金 250 万円)	250	
空き家等利活用事業補助 (ふるさと下仁田応援基金 330 万円)	330	
移住支援金補助金 (県 150 万円)	200	

●少子高齢化対策事業

(単位：万円) ※千円未満切り捨て

出産祝金 ※1子5万・2子10万・3子20万 (ふるさと下仁田応援基金 160 万円)	160	
集落高齢者等タクシー利用券交付	240	
入学祝金 ※祝金3万円+商品券2万円 小学校入学25人・中学校入学28人 (子育て支援基金 265 万円)	265	
幼児教育・保育施設利用者副食費無料化事業 (下仁田町子育て支援基金 183 万円)	183	
福祉医療費助成医療費分 ※子どもの医療費助成拡大分	190	●
保育士等処遇改善臨時特例事業 (国 167 万円)	167	●
不妊不育治療費助成 (ふるさと下仁田応援基金 100 万円)	100	

●新型コロナウイルス感染症対策費

事業費総額1億3,075万円(財源として国の交付金1億1,076万円)(単位:万円)※千円未満切り捨て

事業名等	予算額	新規
庁舎等感染防止対策事業(手指消毒液等購入及び換気扇6基設置)	29	●
集会所等感染防止対策事業(町内72ヶ所の集会所等にマスク及び消毒液を配布)	44	●
公共交通対策支援 (感染症の影響により、上信電鉄利用観光客や町民利用が減少していることから、事業者支援及び経済対策として町民及び来訪者の上信電鉄利用促進を図る。町内飲食店利用者に上信電鉄利用引換券を配布及び貸切車両代補助)	260	●
下田小中学校感染症防止対策施設整備事業 (小中学校のトイレ洋式化及び水道自動水栓化により、児童生徒の感染リスクを軽減)	1,359	●
遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGA スクール構想への支援事業 (オンライン・遠隔授業のための環境整備として、学校内のWi-fiアクセスポイント増設)	132	●
社会体育施設感染予防対策事業 (各社会体育施設のトイレ洋式化及び水道自動水栓化により、利用者の感染リスクを軽減)	774	●
サニタリーサポート事業 (感染症の影響により、長期的な不況による経済的困窮等の理由で、生理用品購入困難者への支援)	10	●
下田町高齢者等おでかけ支援タクシー利用券交付事業 (身体状況により町営バス等の利用が難しい移動手段のない高齢者等に、町内利用のタクシー券を交付し、閉じこもり等防止や健康及び福祉増進を図る)	300	●
新型コロナウイルス集団発生対策事業 (企業等の従業員が感染した際、濃厚接触者以外の接触者のPCR検査に検査料助成を行い、企業クラスターの発生を防ぎ、事業継続を支援)	60	●
下田ぐるめぐりチケット事業 (プレミアム付チケットを販売し、住民及び道の駅来訪者を街中に誘導することで経済の活性化を図る)	763	●
下田町ウィズ・アフターコロナ観光支援事業 (日帰りツアーを行う旅行会社に対して助成を行い、観光誘客を推進)	315	●
イベント感染予防対策事業 (感染予防対策のため、サーモカメラや入場ゲート用テント、消毒液用スタンドなどを購入し、町や観光振興団体等で開催するイベント時に利用)	136	●
蒟蒻消費拡大推進事業 (コロナ禍で物産展等が中止となり、PR不足の結果、売上が落ち込んでいる特産品の蒟蒻の消費拡大を促す)	126	●
地域情報配信事業 (ウィズコロナ・アフターコロナに向け、飲食店や観光施設、イベント、道路や災害など様々な情報発信を可能とするディスプレイ表示機器を道の駅しもいた内の観光案内所に設置し、観光客の街なかへの誘客と利便性の向上を図る)	550	●
燃料購入費助成事業 (燃料価格高騰の影響を受けている町民及び事業者の負担軽減のため、町民には定額の燃料券、事業者には使用した燃料購入額の一定額を超えた分を助成)	4,342	●
観光施設感染防止対策事業 (ほたる山公園のトイレ洋式化及び水道自動水栓化により、来訪者の感染リスクを軽減)	345	●
水道料金支援事業 (事業者・町民等の負担軽減を図ることを目的に、6カ月分の水道料金基本料金及びメータ使用料を全額免除)	3,527	●

採択	可算	予算	18日	15日	14・15日	10日	経済	算計	令和	会計	程可	合規	・群	件	査	議	者	つ	・専	定	3月	
陳情2件を継続審査と趣	令和3年度一般補正																					

議員の諸給与の特例に関する条例

(議員月額報酬を、一律19万9千円とする条例) 賛成多数(賛成8・反対3)で可決!

下仁田町議会の議員の諸給与の特例に関する条例

上記の議案を下記のとおり、地方自治法第112条及び下仁田町議会会議規則第14条の規定により提出します。

令和4年3月8日

下仁田町議会議長 島崎紘一様

提出者 下仁田町議会議員 堀口博志

賛成者 同 小井土光弘、大手博幸、佐々木信也、岡田邦敏、木暮弘元、佐藤博、岡田武二

下仁田町議会の議員の諸給与の特例に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、下仁田町議会の議員に支給する議員報酬の特例に関し必要な事項を定めるものとする。

(議員報酬の額の特例)

第2条 下仁田町議会の議員に支給する議員報酬の月額を、令和4年4月1日から令和5年9月9日までの間においては、下仁田町議会の議員の諸給与支給条例(昭和31年下仁田町条例第21号)第1条の規定にかかわらず、月額199,000円とする。

附則

(施行期日)

第1条 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

(失効)

第2条 この条例は、令和5年9月9日限り、その効力を失う。

【提出の理由】

正副議長の2年毎の交代の慣例(申し合わせ)の取り扱いをめぐり、議会運営上の混乱を招いたこと及び町民に不安と不信感を抱かせたことを鑑み、減額するものである。ただし、現議員の議員任期までとする。

佐藤公夫議員 議員報酬の見直しには大賛成です。附則を外したほうが望ましいと思う。なぜ、現議員限りの改定ですか。

提出者 提案理由は先に述べたとおりです。

佐藤公夫議員 現職議員に限らないほうが住民、町民に分かりやすいと思います。

提出者 この提案が最良と思っています。

佐藤公夫議員 議長報酬の取り上げと感ぜませんが。

提出者 提案理由は先ほど述べたとおりです。

佐藤公夫議員 議員定数は減らさず、報酬を減らす提案をしていただくと大変ありがたい。

提出者 この提案が今は最良だと思っております。

岩崎正春議員 私も議員の給与に関する見直しは、是非とも必要だと思います。提案に当たっては議員協議会等で協議の上、提案されるのが慣例です。いきなり本会議に上程されたという例は無かつたと思えます。

提出者 議員としての提案です。提案した議案について賛否を願います。

岩崎正春議員 議員提案をすることは結構なことですが、慣例を重視することを大義に不信任決議案を出されたわけですから、最後まで慣例を重視する姿勢を貫いて欲しかったと思えます。

提出者 先ほどから申していますように、これが最良だと思っております。

予算決算特別委員会

主な質疑

◆令和3年度一般会計
補正予算(第6号)

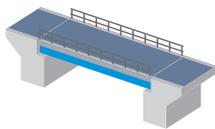
◆令和4年度一般会計
予算

【歳出】

問 ※繰越明許費の土木費について。

答 橋梁維持管理事業1790万円は、東野牧地内の町道橋森平橋橋梁撤去工事です。令和4年1月14日に契約、工期は3月31日までですが、土木事務所との協議で、河川内作業の濁水期実施を指導されていますが、現在の濁水期間中に河川内作業完了が困難なため、秋以降の濁水期に実施予定です。

河川費の治水砂防対策事業1185万円は、馬山地内の砂防指定地久保沢法面対策工事で、現在は仮設足場を設置して補強土工として鉄筋挿入工を実施していますが、天候等の影響も加味し繰越明許としました。



【歳入】

問 充電インフラ普及支援プロジェクト支援金は、

道の駅設置のEV急速充電器の令和3年度に支出した経費分が、支援金として翌年度に入金となります。EV充電器は、その普及のため、電力会社や自動車メーカーが出資する日本充電サービスが補助金を出しています。道の駅設置の充電器も、その補助金を活用し、平成26年度に設置しました。8年間の契約が令和3年度で切れるため、現在の設置場所の無償提供を条件に、維持管理費全額と破損時の撤去費全額負担のプランに契約更新することで、電気料、保守点検費用、保険料の予算計上が不要となります。

【歳出】

問 街なか賑わい整備計画策定業務250万円は、

施設建設ありきではな

く、場所や方法などについて特定せずに、協議・検討から広く意見を求めて、一から計画をするようにとの指摘を元に、検討委員会等協議機関を設けて、基本計画の策定をしていきます。ゼロベースからの検討・協議のため、検討委員会の運営補佐や意見をまとめた上での統合的提案、また、簡易なイメージ図の作成など、計画策定に向けて共に業務を行うコンサルタント事業者へ、業務委託を予定しています。

問 消防費の総合事務組合負担金346万8千円は、

消防団公務災害負担及び退職金負担金で、保証内容は、死亡及び重度障害が2300万円、入院7日以上1日1500円、通院10000円です。また、消防団員特例として、消防公務以外の死亡時でも、家族救済金として100万円を支給できる制度となっており、過去5年間で1件該当者がおります。

問 新型コロナウイルス感染症対策費の内、燃料購入費補助は、

燃料価格高騰の影響を受けている町民及び事

業者の負担を軽減するため、町民には定額で1世帯1万円の燃料購入券、事業者には月5000円以上使用している事業者に年額20万円を上限として燃料高騰分の2分の1を申請方式により給付します。

問 使用量の確認は請求書等添付か。

答 月5000円以上の使用確認を行うため、請求書や領収書などを添付してもらいます。

問 複数種類の燃料使用の合算でもよいのか。

答 燃料はガソリン、軽油、灯油、重油等、合算も対象とします。

問 空き家情報が3〜4件くらいしかないが、空き家対策の見解は。

答 空き家に関する事業は「暮らしの相談窓口」事業として下仁田町観光協会へ業務委託しています。財源は交付税措置があります。

令和2年度実績は、相談82件、内覧29件、その内、売買7件、賃貸5件の契約が成立しています。平成28年度に空き家調査を実施したところ、全てが居住可能ではありませんが、全町で506軒

でした。

「空き家等利活用事業」は、空き家改修費用が上限100万円、片付けが上限10万円で2分の1補助です。それぞれ3件見込んでいます。

問 空き家等の再調査をしたらどうか。

答 空き家バンクへの登録増加のため、固定資産税納税通知書にパンフレットを同封しています。また3〜5月の町広報誌にも掲載予定です。

問 空き屋を借りるのに、月に3〜4万円支払うのは、長く借りる間には大変になってくる。固定資産税分程度で貸し出すようにしたらどうか。

答 いろいろな手法を考えながら、実施していきたいと思います。

問 婚活イベント等委託事業の説明について。

答 現在、出会い交流の場実行委員会においてイベントの企画や実施を行っています。参加者集めに苦慮していることや、コロナ禍における中止等もあり、実行委員の意見も踏まえ、今回は実績とノウハウのある民間業者に委託します。実施内容は、出会い交流事業と同

※繰越明許費とは

歳出予算の経費の内、年度内にその支出が終わらない見込みのものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越しして使用する経費のこと。

様の男女の交流イベントで、年2回実施予定です。

問 放射性物質検査機器保守手数料32万1千円について。

答 保健センター設置の、町民から依頼された食品の放射能濃度を測定する機器の保守点検費用です。

問 検査件数及び結果は。

答 除染土壌仮置場の採水も含め概ね年40件程度検査し、その内町民持ち込みの食品等は10件程度です。

問 検査結果は、放射性物質が検出下限値以下か100ベクレル以下です。

答 空き家所有者から申請された物件について、国補助規定と町補助規定による調査を行い、該当した物件に対して、町内業者による除却の場合には20万円、町外業者は10万円を上限に補助する事業で、5件×20万円の100万円計上です。

問 近年、耕作放棄地が大変増加しているが、耕作放棄地に対する費用は予算計上されているか。

答 耕作放棄地に関する助成等の費用は、現状では

計上されていません。

ただし、現在地域おこし協力隊員による耕作放棄地の農地活用を行っています。

問 増加する耕作放棄地の利活用の方法を、農業委員会などとともに考えるとか、耕作放棄地を農業利用する場合の助成制度なども、ぜひ令和4年度中に検討して実施に移してもらいたい。

答 そういった事も踏まえて、令和4年度に改めて協議をさせていただきたいと考えています。

問 交通安全対策費の工事請負費253万円は。

答 各地区から防護柵やカーブミラー等の要望に対応するため、町内一円の交通安全施設設置工事に110万円を見込んでいます。

さらに、馬山地内の町道若宮大塚線には、スクールバス停留所が数か所ありますが、外側線(白線)が消えていることから、令和3年度の通学路合同点検において、下小PTA会長から引き直しの要望があり、143万円を計上しています。

◆令和4年度国民健康保険特別会計予算

【歳入】

問 基金繰入金が令和3年度予算で141万円、令和4年度予算で110万円となつていますが、増加理由は。

答 主な要因は、国保税を見込んでいたためです。

問 基金残高が3870万円と説明があつたが、令和4年度末の見込金額か。

答 当初予算上で、令和4年度末基金残高見込みです。

問 理想的な基金残高額は。

答 保険給付費と後期支援助金合計の過去3年間平均の5%という基準で計算すると、適正額は3430万7千円となり、若干余裕があると考えています。

問 国保税は3年毎の見直しか。

答 平成21年から同じ税率です。

問 しばらくは、国保税率は変わらないという理解でよいか。

答 令和4年度予算においては、現状の税率です。

◆令和4年度介護保険特別会計予算

【歳入】

問 諸収入の内、任意事業の配食サービスについて。

答 65歳以上の高齢者のみの世帯を対象に、毎週火曜日の昼食にお弁当を配達するとともに、安否確認を行い、必要に応じて包括支援センターに報告していただく事業で、現在30の方が利用しており、その利用料収入です。



【歳出】

問 地域支援事業費の内、任意事業の147万5千円は。

答 配食サービスが約100万円、成年後見制度利用支援事業が21万6千円です。

問 成年後見制度利用支援事業の利用者は何人か。また、成年後見利用促進講座の説明を。

答 利用者は施設入所中の1名です。月額1万8千円の12カ月分利用料です。

成年後見利用促進講座

は、努力義務として中核機関を設置するようにとの厚労省からの通達に合わせ、専門職を集めて講座を実施するものです。

◆令和4年度水道事業会計予算

【歳入】

問 その他雑収益79万4千円は。

答 電柱占用料としてNTT電柱3本分と東京電力の電柱8本を見込んでいるのと、原発事故に伴う水質調査費用損害賠償金として、東京電力(株)が令和3年度調査委託費77万4千円を補填するものです。

問 放射能検査の調査回数はいくつで、結果はどうか。

答 町内各浄水場給水区域内16か所を年4回検査しています。検査結果は測定値以下のため未検出です。

問 水質調査の他に、浄水場の汚泥調査は行っているか。

答 浄水場施設での汚泥調査は、国の基準により定められていますが、町の施設は対象外のため、調査は行っていません。



問 将来どうする 買い物弱者

答 総合的に検討していききたい



買物サービス便利帳を作成、商業協同組合では買い物支援配達出前マップを作成。町も助言や補助をしています。

議員 町が具体的に取り組んでいる支援は。

福祉課長 町営バスは70歳以上の方は無料です。

議員 ここ数年でコンビニや金融機関の支店等が閉鎖されている深刻な現状と、いずれは誰しも免許証返納の時期がやってくる。10年前と現在の小売業等店舗の状況は。

商工観光課長 平成19年から平成28年の10年間で食料品等小売業及び飲食店の合計で約52件減少しています。

議員 後継者のいる店舗は。 **商工観光課長** 3から4割程度と思われます。

議員 町の取り組みで行政、商工会、企業が協力した買い物弱者に対する支援体制はいかがか。

商工観光課長 商工会では、

対策を講じる必要があると考えています。

議員 町長の考えは。

町長 買い物弱者の問題で、

①買物の場をつくる②家まで商品を届ける③出かけ易くすると、3要素ありますが、特に③は交通弱者にも関係します。総合的に3つの要素をうまく立ち上げる方向で検討していききたいと考えます。



問 ヤングケアラーに支援を

答 実態把握と環境づくりを進めたい

議員 18歳未満の子供で、

何らかの都合で家族の面倒を見ている子どもを呼ぶとをヤングケアラーと呼ぶが、昔のような大家族は減少し核家族化が進み、ひとり親家庭が増加傾向にある中で、小中高と本来勉強や部活また遊びと

一番いい時期を、ケアが必要な家族のために時間を取られてしまう子どもが町内にいるか、現状の調査及び把握は。

議員 今後は調査するにあたり十分配慮し、仮に該

教育課長 県では県立高校等にアンケート調査を実施、また前橋市でも小中学生を対象に調査をしましたが、総じて実態調査は進んでいないのが現状です。町内の小中学生で

学校が把握している限りでは該当者はいませんが、各家庭への調査はしていませんので実態把握は出ていません。

議員 今後は調査するにあたり十分配慮し、仮に該

議員 今後は調査するにあたり十分配慮し、仮に該

当者がいてヘルパーを要請するような場合は、町が支援をしたらどうか。

教育課長 県の調査や国の政策を注意深く見守りながら、どのような対策が必要か学校や福祉関係と連携し検討していききたいと思っています。

議員 福祉課はいかがか。

福祉課長 町内におけるヤングケアラーの実態は明確でないのが現状です。教育現場の関係者だけではなく、地域の方や福祉現場の方からも情報をいただき、実態把握に努めます。今できることとしては、ヤングケアラーという存在を社会全体で認識してもらえようようにすること。また、こども自身が周囲の大人に助けを求められるような環境づくりが必要だと考えます。



問 答

太陽光発電事業の事業者への今後の対応は

手順を踏み、地元住民の理解を求めていただく

議員 太陽光発電に係る大規模土地開発事業に関する検討はどの程度か。

企画課長 全課に意見照会をし、確認事項を事業者へ提出済です。各種の開発に関する法令やガイドラインにより粛々と事務処理します。

議員 大規模土地開発事業の可否の判断基準は

企画課長 地元住民や議会の意見等も踏まえ可否判断します。

議員 開発面積20〜25ha程度、出力2万kW、4万6千枚のパネルの設置の計画、構想書では実測地65ha、2段3段の開発推進の懸念は。

企画課長 予定地には保安林もあり、残地森林を残す指導を受けると思われます。



佐藤 博 議員

議員 今回の地元への回覧に企業は含まれていないが。

保健課長 地元区長と協議するよう助言しました。

議員 回覧を見ていない方も多数いる。説明会が必要と思うが。

保健課長 説明会開催をお願いしています。

議員 「地域の理解を得ながら、適正かつ設置・管理」とあるが、「地域」とは。

保健課長 施設の周辺地域が妥当と考えます。

議員 「理解を得る」とはどの程度のことか。

保健課長 施工から日常管理、最終的な事業終了に至るまでの長期間にわたって、近隣住民の日常生活に支障をきたさないように、法令を遵守し、良好な管理することを得る明し、町民の納得を得ることと考えます。

議員 今回の回覧資料では不備だと思う。「理解、納得する」とは、「全員」のことか。

保健課長 今の段階では何ともお答えできません。

議員 事業概要書に施工・維持管理・撤去・廃棄等の内容が含まれていない、不十分ではないか。

保健課長 事業の進捗に応じた説明機会は設けます。

議員 今後の対応は。

町長 コロナ禍で資料の回覧になったと思うが、手順を踏み、地元住民の理解を求めていきます。

議員 申請地は景観計画区域内か。

建設水道課長 下仁田町全域が景観計画区域です。

議員 街なかから現地が目に入る。説明の必要は。

建設水道課長 景観条例の場合、特に地元の説明を求めています。

議員 条例の目的の「良好な景観の形成」に反しないか。

町長 景観条例自体は太陽光発電を意識していなかったと思われ、太陽光発電の適用範囲は難しい面があると思います。

議員 下仁田町環境基本条例では、「町民とは町内に居住、又は滞在若しくは通過するもの」とある。事業による生活環境への影響はあると思うか。

保健課長 概要が出たばかりの初期段階です。今の段階で影響の有無を申し上げることは出来ません。

議員 町民の意見の反映は。

町長 ガイドラインはガイドライン、条例は条例です。それに抵触するかどうか、この案件が進んだ中での判断です。

議員 調整池そのものが脅威にならないか。

企画課長 県から詳細な設計等の指導がなされます。

議員 川井地区の断層は活断層で、震度6以上の可能性があるとのこと。現地は中央構造線上に位置するが、将来的に安全と言えるか。

町長 大規模土地開発の可否を判断する上で、様々な条件が必要です。町が可とした後は、県が検討します。地震に関して、安全か危険かという判断は大変難しいと思います。

議員 構造物の設計に関し、職員で検証が出来るのか。

企画課長 群馬県へ提示される資料により、県で検証、審査します。

議員 申請者の履歴事項全部証明書には「産業廃棄物の収集、運搬、及び処理業」の項目が記載されている。産業廃棄物の中間処理や最終処分場への発展が懸念されるが。

保健課長 産業廃棄物処分は、事業者が自らの責任で処理しなければなら

いとする法律規定があります。廃棄物を出すような業種ならば、当然、自ら片付ける業種があるのは不自然ではありません。

議員 20年前の産廃最終処分場問題の思いはさしたくない。下仁田町環境基本条例は、確認を含め見直しの必要があると思うが。

町長 様々な諸法に抵触しないよう、クリアし、地元住民の確認、承認、議会の皆さんのご意見を伺い、可否の判断に繋がると思っています。そういった感覚でこの状況を見ています。

皆さんの意見の中での最終判断だと思います。



太陽光発電施設の例（東町地内：東第2団地）

問

ICT教育の取り組み効果は

子どもが主役の授業へ
転換しつつある



岩崎正春 議員

議員 ※ICT教育の取り

組みによって授業がどの
ように変わったか、また
変わるのか

教育課長 平成29年度に小

学校で※タブレット50台、
中学校で47台購入し授業
で活用してまいりました。
町ではICT活用の
目的を学習の道具として
日常的に利用することに
よって一人一人の「主体
的対話的で深い学びを
実現すること」と定めて、
学校をあげて取り組んで
きています。

議員 子どもの学習への習

熟度や課題はいかがか。

教育課長 課題のひとつは

師が主役」から「子ども
が主役」の授業に転換し
つつあり、従来とは違っ
た、大きな変化が起きて
います。

議員 リスク管理につい

て、ICT教育ガイドラ
インはあるのか。

教育課長 教育委員会とし

ては、現場の教員の意見
を取り入れながら、昨年
7月に教育情報セキュリ
ティポリシーを策定し運
用しています。

議員 地域を知る学習はど

のような取り組みか教育
課長 「下仁田学習」と
して、郷土の産業・歴史
文化等を学ぶ授業を小学
校1年生から中学3年生
まで体系的に取り組んで
います。



下仁田小学校におけるICT教育の様子

問

コロナ禍の海外派遣事業は

代替事業を国内で実施予定

議員 コロナ禍とアフター

コロナでの中学生の派遣
事業はいかがか。

教育課長 令和2年度3年

度と2年連続で実施でき
ず、生の英語に触れ、異
国の生活や文化に触れる
機会がなかったことは非
常に残念に思います。

令和4年度は、国内で

2泊3日程の日程で中学
2年生全員を対象に研修
を予定しています。

議員 中学生が人口減少対

策などを町長へ提言した
が、それを受けての感想
は。

町長 まず一つ目が、保育

園、小中高一貫教育をし
たらどうかという提言が
ありました。メリット、
デメリットともにあり、
難しいところもあります
が、皆さんの総意があれ
ば、十分検討していきたい
と思っています。

二つ目は、子育て世代

のための公園が欲しいと
いう要望です。以前より
町民からは言われていま
したが、公園を作り、学
校とともに、もつと外で
遊ぶ形も考えていったほ
うがいいという感覚でい
ます。

※ICT教育

インターネット等の通信技術
を活用した教育

※タブレット

携帯できる情報端末のこと。
ノートパソコンとスマート
フォンの中間的な端末

※GIGAスクール構想

GLOBAL INNOVATION
GATEWAY FOR ALLの略で、
ICT（インターネット等の
通信技術）を積極活用し、「誰
一人取り残すことのない個別
最適化された学び」を目指
す文部科学省および政府主
体の施策。学校教育におい
て、児童生徒一人一台のコン
ピュータ、高速通信ネット
ワークの整備、デジタル教
材の活用等を行う構想。

審議結果

3月定例会（8日～18日開催）

○は賛成、×は反対を表しています。
（島崎紘一議長を除く11人で採決を行います。）

議案番号	議案名等	議員名	小井土光弘	大手博幸	佐々木信也	岡田邦敏	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	堀口博志	岡田武二	佐藤公夫	審議結果
1	専決処分の承認を求めることについて （人権擁護委員候補者の推薦について）（石井利子氏を選任）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
2	専決処分の承認を求めることについて （下仁田町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例） （群馬県福祉医療費補助金交付要綱の一部改正に伴う条例改正で、 重度心身障害者医療助成の所得制限導入等）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
3	専決処分の承認を求めることについて （下仁田町国民健康保険条例の一部を改正する条例） （産科医療補償制度見直しで、掛金が1万6千円から1万2千円に 引き下げられることに伴い、少子化対策としての重要性に鑑み、 現行支給総額42万円維持のため、出産育児一時金支給額を 40万4千円から40万8千円に改正）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
4	専決処分の承認を求めることについて （令和3年度下仁田町一般会計補正予算（第5号）） （歳入歳出2億6,622万1千円追加し、総額53億6,943万2千 円とする補正）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
5	専決処分の承認を求めることについて （令和3年度下仁田町水道事業会計補正予算（第2号）） （事業費用228万9千円減額し、費用2億3,815万円とし、資本的 収入83万5千円増額、資本的支出310万7千円増額し、資本的収 入9,414万9千円、資本的支出1億6,676万9千円とする補正）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
6	下仁田町固定資産評価審査委員会委員の選任について （福田保幸氏を選任）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
諮問 1	人権擁護委員候補者の推薦について （神戸百合子氏を推薦）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
諮問 2	人権擁護委員候補者の推薦について （阿久澤康之氏を推薦）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
7	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について （総合事務組合の加入団体が、組合から脱退せずに、常勤職員に係 る退職手当支給事務の共同処理を終了する場合、退職手当の支給 事務に係る負担金の還付又は特別徴収を行えるようにする等）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	下仁田町個人情報保護条例の一部を改正する条例 （国の「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「独 立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」の廃止に 伴い「個人情報保護に関する法律」に一本化されることによる条 例改正）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	下仁田町議会の議員の諸給与支給条例の一部を改正する条例 （令和4年度以降の期末手当の支給割合を年間4.45ヶ月から 0.15月減じて4.30月に改定）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	下仁田町長、副町長及び教育長の諸給与支給条例の一部を 改正する条例 （国の人事院勧告に基づき、国の給与法が改正されたことに伴い、 令和4年度以降の期末手当の支給割合を年間4.45ヶ月から 0.15月減じて4.30月に改定）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	下仁田町職員の給与に関する条例及び下仁田町一般職の 任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例 （国の人事院勧告に伴う職員の期末手当支給割合の改正）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	下仁田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 （育児休業をすることができない職員の条件緩和等）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	下仁田町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例 （審査委員会への審査申出書等の押印廃止、インターネットを活用 した電子書類の提出を可能とするための改正）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14	下仁田町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 （子どもの福祉医療費助成対象者を18歳に達する日以後の最初の 3月31日までに拡大）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議案番号	議案名等	議員名										審議結果	
		小井土光弘	大手博幸	佐々木信也	岡田邦敏	木暮弘元	岩崎正春	佐藤博	千野榮治	堀口博志	岡田武二		佐藤公夫
15	下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (地方税法の改正に伴う改定で、世帯に未就学児の被保険者がある場合、世帯主に賦課する国保税均等割額を半額にする改正等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16	下仁田町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例 (小口資金融資の返済負担軽減策として、平成15年度から実施の借換制度を、令和4年度も1年延長するための改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	下仁田町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例 (令和2年の道路法施行令改正により、道路占用料が現在の地価水準を反映した額へ改正されたことに伴い、道路法に準拠し、群馬県道路占用料徴収条例に沿った金額に改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	下仁田町消防団条例 (国の消防組織法に準じての条文の追加と消防団員の定数を現行の182人から160人への改正、消防庁長官通達による消防団員の報酬増額等の処遇改善等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	下仁田町議会の議員の諸給与の特例に関する条例 (5ページの記事参照)	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	可決
20	財産の処分について (下仁田町林業総合センターの下仁田町森林組合への無償譲渡)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	下仁田町林業総合センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例 (下仁田町林業総合センターの無償譲渡に関連し、条例を廃止)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	指定管理者の指定について(道の駅しもにた) (道の駅しもにたの管理を、令和4年4月1日から令和9年3月31日の5年間「(有)産業開発しもにた」に指定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	令和3年度下仁田町一般会計補正予算(第6号) (歳入歳出1億1,309万1千円追加し、総額54億8,252万3千円とする補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	令和3年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (歳入歳出3,981万2千円追加し、総額9億7,771万4千円とする補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25	令和3年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) (歳入歳出1,109万1千円減額し、総額1億4,047万8千円とする補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26	令和3年度下仁田町介護保険特別会計補正予算(第2号) (歳入歳出69万2千円追加し、総額14億3,168万3千円とする補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	令和3年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号) (歳入歳出1,283万8千円減額し、総額6,920万2千円とする補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
28	令和4年度下仁田町一般会計予算 (歳入歳出総額48億1,600万円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
29	令和4年度下仁田町国民健康保険特別会計予算 (歳入歳出総額9億2,974万7千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	令和4年度下仁田町後期高齢者医療特別会計予算 (歳入歳出総額1億5,338万1千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	令和4年度下仁田町介護保険特別会計予算 (歳入歳出総額14億502万2千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	令和4年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計予算 (歳入歳出総額7,954万5千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
33	令和4年度下仁田町水道事業会計予算 (事業収益2億4,222万円、事業費用2億3,608万円、資本的収入9,701万1千円、資本的支出1億6,723万4千円)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

陳情の審査結果

受付番号	件名	申請者	審議結果
4	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	「新しい提案」実行委員会責任者 安里長従	継続審査
5	安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るための国に対する意見書を求める陳情書	群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦匠人	趣旨採択

趣旨採択：内容について、全体には賛成できないが、その趣旨、考え方に賛成である場合。

継続審査：会期中に議案などの審査や調査を終了することが困難な場合に、議会の議決によって、会期が終了した閉会後も引き続いて委員会でも審査や調査を行うこと。

表彰

群馬県町村議会 議長会表彰

特別表彰

(議員23年以上在職)
堀口博志議員



一般表彰

(議長4年以上在職)
島崎紘一議員



一般表彰

(議員10年以上在職)
木暮弘元議員



議員参加行事

第1回DMO勉強会

令和4年2月18日(金)
役場201会議室

コロナ禍によりオンラインによる勉強会となったが、国土交通省観光庁観光地経営推進課の吉田氏を講師に、※日本版DMOの仕組みや役割や意義などについて、理解を深めると同時に、下仁田町のまちづくりへの活用等についても講義を受けた。



広域圏・病院・環境衛生議会二ユース

◆富岡甘楽広域圏議会

令和4年3月定例会
(2月24日開催)

- 令和3年度一般会計補正予算(第2号)
 - 衛生管理センター事業特別会計補正予算(第1号)
 - 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正
 - 個人情報保護条例の一部改正
 - 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について
 - 群馬県市町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について
 - 令和4年度衛生管理センター事業特別会計予算関係市町負担金の分賦割合について
 - 衛生管理センター事業特別会計予算
- 以上8議案は
全会一致で可決

◆甘楽西部環境衛生 施設組合議会

令和4年第1回定例会
(2月28日・3月22日開催)

- 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について
 - 令和4年度予算
 - 個人情報保護条例の一部改正
- すべて全会一致で可決

◆下仁田南牧 医療事務組合議会

令和4年第1回定例会
(2月28日・3月22日開催)

- 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について
 - 病院事業の設置等に関する条例の一部改正
 - 個人情報保護条例の一部改正
 - 職員定数条例の一部改正
 - 育児休業等に関する条例の一部改正
 - 職員の給与に関する条例の一部改正
 - 令和3年度補正予算(第4号)
 - 令和4年度予算
- すべて全会一致で可決

※日本版DMO

DMOとは観光物件、自然、食、芸術・芸能、風習、風俗など地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地作りを行う法人。Destination Management Organizationの略。

観光庁が規定した日本版DMOとは、『地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人』

シリーズ 町の施設⑨ テレワークオフィス



テレワークオフィス

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、働き方が大きく変化し、**※テレワーク**が推奨されています。テレワークとは、パソコンやインターネットといった情報通信技術（ICT）を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方です。テレワークの活用によって、さまざまな生活スタイル

ルに応じた働き方が可能となるほか、企業の生産性の向上にもつながります。こうした施設が、平成30年に建設され、住民サービスの向上、経費の節減、安定した管理を図るため、指定管理者制度を導入し、現在は株式会社サンアメニティが管理運営を行っています。

利用申し込みは、町ホームページよりお願いいたします。

プランは、月額利用とスポット（1日のみの利用）があります。

ご利用お待ちしております。

▼問い合わせ先

商工観光課

☎ 0274-64-8805

※テレワーク

「離れた所」で「work」働くをあらわせた造語



チャレンジショップ

編集室から

新型コロナウイルス感染症が発生し、2年余り。幾度となく緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発動し、恐怖と感染防止、行動制限、3密回避と、私たちを取り巻く生活環境は様変わりしました。

我慢と自粛の中、また今年も桜が咲きました。

季節と暦は私たちの心労を知るか知らぬか、立ち止まりません。いやおうなしに2つの年を重ねました。

先日、嫁から、孫が小学校に入学したと写真とメールが送られてきました。遠く離れていても、時が流れていることを痛感しました。

堀口博志



次の定例会は6月です

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、体温37.5℃以上の方、体調不良の方は、議会傍聴をご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

議会関連のお問い合わせは

☎0274-64-8810

議会だより、会議録の他、

町の情報は

下記のホームページをご覧ください。

<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

- ・マスク着用
- ・手洗い励行
- ・3密避けて



下仁田町公認キャラクター「にゃくっち」

広報発行特別委員会

委員長 佐藤 博
副委員長 大手 博幸
委員 小井土光弘
佐々木信也

岡田 邦敏
堀口 博志
岡田 武二